

自然史科学の研究と環境教育プログラムの開発



自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

佐藤 裕司

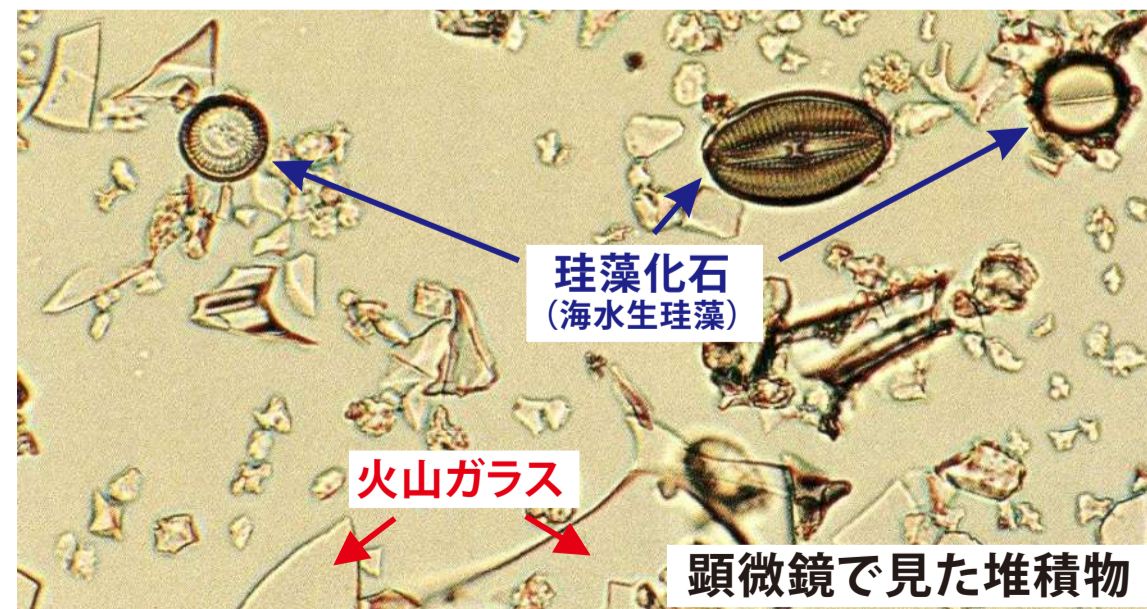
‘過去に学び、現在を知り、未来へ生かす’という自然史科学の視点と地球的視座に立ち、地域環境の歴史と多様性を解明する研究を行っています。その研究のために、いろいろな生物を環境指標に用いています。また、生物多様性保全の重要性や自然災害への理解を環境教育の中に取り入れ、自然史リテラシーを育成するための手法開発にも取り組んでいます。

このような自然史からのアプローチは、現在を正しく位置づけ、未来を予測し、直面する地球環境問題に対処する道標になると考えています。

珪藻化石を用いた古環境解析



約20万年前の海成層 (兵庫県加古川市)



珪藻化石 (海水生珪藻)

火山ガラス

顕微鏡で見た堆積物

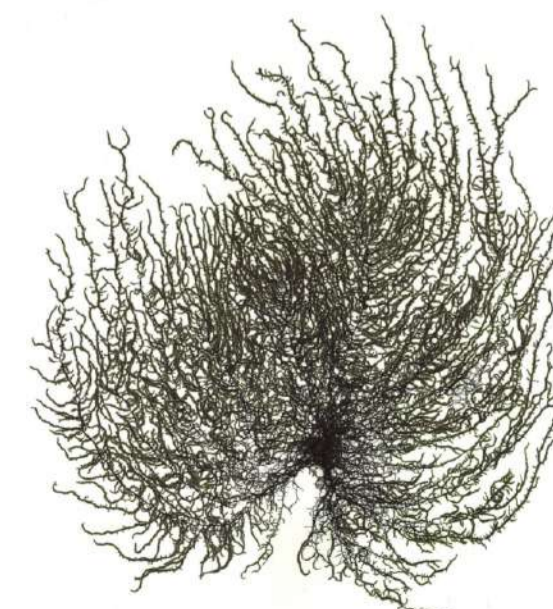
淡水産藻類の多様性と保全に関する研究



安室川 (兵庫県上郡町)



淡水産紅藻チスジノリ



自然史リテラシーの涵養のための環境教育プログラム開発



ジャコウアゲハ
から学ぶ
生物多様性

こんな冊子を作りました。

ジャコウアゲハを飼育しながら、生物多様性の大切さを学ぶための方法を書いています。この冊子を希望される方は、筆者までお問い合わせください。